



ウロナビのご紹介 褥瘡対策チームのご紹介



撮影: 予防接種センター 谷口 恵

『平成』の時代が終わり、5月より新元号となります。平成24年4月に当院へ赴任後7月より薬剤部長を拝命し、7年が経過しました。この7年間で我々病院薬剤師の業務は院外処方せんの全面発行に伴い、外来患者さんへの調剤業務から入院患者さんへの病棟業務へ移行し、当院では各病棟に薬剤師がいるのが当たり前となっています。

病棟を担当する薬剤師の業務は多岐にわたりますが、入院患者さんのお薬の内容を確認することから始まります。患者さんには、現状服用(使用)している全ての薬を見せて頂きますが、過去に服用していたお薬が混在していたり、一部のお薬を見せ忘れていたといったケースもあり慎重に対応しています。患者さんとしては、「点眼薬や塗り薬までわざわざ見せなくても・・・」という気持ちがあるのかも知れません。しかし、疾患によっては外用薬でも主治医への情報提供が欠かせない場合もあります。全てのお薬を見せて頂きますようご協力願います。

薬物療法は継続的な服用が必要なことも多く、不安やストレスが伴います。薬剤部スタッフ一同、患者さんに「お薬のことについて相談したい」と言って頂けるよう努めて参りますのでよろしくお願いいたします。



名鉄病院
薬剤部長

武藤達也





ウロナビのご紹介



2018年11月より、磁場誘導型 MRI超音波融合
前立腺生検装置(UroNav)を導入しました。

MRIにて前立腺がんが疑われていても、超音波にてその場所を特定できない時には、
がんが疑われる部位を正確に^(※)穿刺することが難しい場合があります。そのため、前立
腺生検の最中に、MRIでがんが疑われる場所を正確に示す技術が望まれてきました。その
要望を満たすべく誕生したのが、UroNav(MRI-超音波弾性融合前立腺生検装置)です。

(※) 穿刺(注射針を刺して、排出や注入すること)

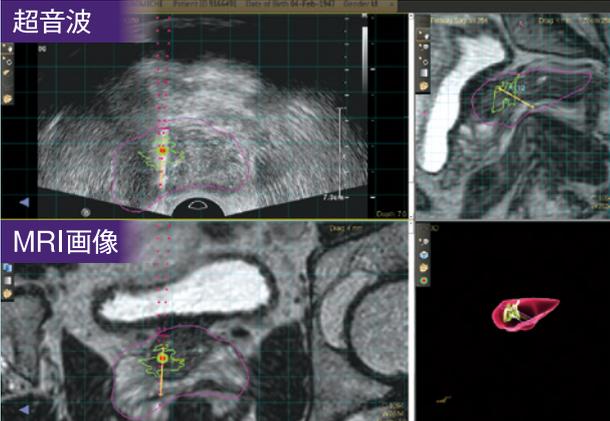


泌尿器科 部長
荒木 英盛



前立腺生検チーム

超音波



MRI画像

特徴

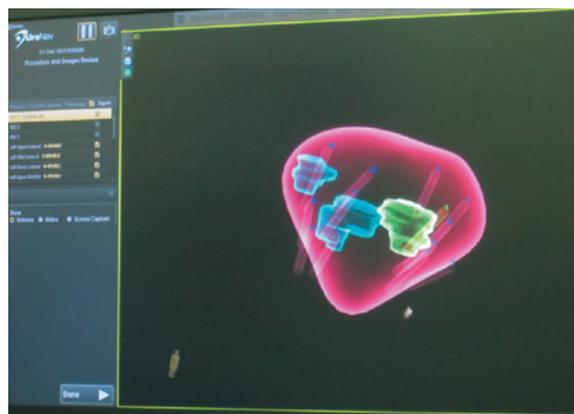
事前に撮像されたMRIのT2強調画像を活用
MRIの画像を超音波画像に三次元弾性融合。

上段に超音波画像、下段にMRI画像を平行表示。

超音波画像で不明瞭な領域をMRI画像で即時確認
可能超音波画像、MRI画像上に重心表示されたマー
カーを狙うだけの簡単な生検が可能。



前立腺生検の様子



穿刺軌跡を3D化する
ことで、生検結果
の確認に対する視認
性の向上と、穿刺軌
跡をMRI画像に反映
させることで穿刺結
果と画像診断結果の
検証が可能。



しよくそう 褥瘡対策チームのご紹介



褥瘡対策チームは、医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、各病棟のリンクナース、管理栄養士、事務部門で構成されています。

2018年度からは、褥瘡専従看護師が配置されました。褥瘡が発生しやすい患者さんに対し、チームで外来から入院、退院後までの予防策を講じ、集中的なケアを行います。下記のようなケースについて、お気軽に地域医療連携室を通じてご相談ください。

1 全身感染を伴う褥瘡患者さんの入院対応による受け入れ

感染を伴う褥瘡には全身管理が必要となります。急性期の感染を伴う褥瘡では入院し、一時的に感染コントロールを行うことがあります。

2 感染を伴わない慢性化した褥瘡の管理を必要とする患者さんの対応

上記の場合には、主に皮膚科外来での通院で対応いたします。入院の可否については適宜判断いたします。医師は適切な治療を、看護師は創面のアセスメント及び創傷環境を整える方法、発生した背景を考え、対応策をケアマネージャさんや訪問看護師さんと情報共有します。必要に応じ、管理栄養士から、栄養に関するアドバイスをします。

3 局所陰圧閉鎖療法による治療

上記管理は、創傷の深さにより入院もしくは外来での対応になります。局所陰圧閉鎖療法は、画期的に創傷治癒を促進します。

4 褥瘡ケアを専門とする看護師による訪問看護、退院後訪問看護の提供

ご要望に応じ、褥瘡を保有した状態で退院となる患者さんや、通院が困難な患者さんに対し、当院の看護師が訪問し、地域の訪問看護師と一緒に生活をサポートさせていただきます。

5 勉強会及びセミナーの開催

名古屋市西区及び尾張医療圏の地域の皆様に向けた、褥瘡に関するセミナーを数多く開催いたしております。ご希望に応じ、研修を開催することができます。

例)在宅や施設における褥瘡予防対策 在宅や施設における褥瘡治療について



褥瘡対策チーム

警察より感謝状を拝受

当院では、1月11日、日常的な医療提供や事故時の患者搬送の受け入れなどを通して、地域の治安維持に貢献してきたことが高く評価され、愛知県西警察署長より感謝状を拝受しました。

また1月4日には、当院認知症疾患医療センターの宮尾眞一部長が、認知症のおそれのある高齢者の適性検査を的確に実施してきたことが高く評価され、愛知県警交通部長より感謝状を拝受しました。これらの受贈を励みに、当院では引き続き、良質な医療の提供を通じて、地域社会に貢献できるよう努力して参ります。



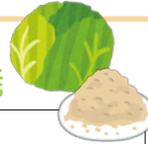
健康によいレシピ

小麦粉不使用！春キャベツとおからのお好み焼

おからは低カロリーで、食物繊維、カルシウム、たんぱく質も豊富で栄養満点。お肉とたっぷりの野菜も入り、糖質は小麦粉で作るお好み焼きよりぐっと少ないので、ご飯とともに食べても栄養バランスが取れます。

【材料(2人分)】

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ●春キャベツ……1/5個(200g) | ●トマトケチャップ |
| ●にんじん……1/2本(80g) | ●中濃ソース……各大さじ3 |
| ●豚こま切れ肉……100g | ●砂糖……大さじ1 |
| ●おから……100g | ●青のり……大さじ1 |
| ●卵……2個 | ●かつおぶし……2袋(10g) |
| ●水……120ml | ●マヨネーズ……大さじ1 |
| ●片栗粉……大さじ4 | ●油……適量 |
| ●塩……小さじ1/4 | ※Bは市販のソースで代用可 |



【作り方】

1. キャベツとにんじんは、あらみじんに切る。耐熱ボウルに入れてラップをかけ、電子レンジ(600W)で3分加熱する。
2. ①のボウルに、豚こま切れ肉を加え、おからとAも加え、手でむらなく混ぜる。12等分して平たい円形にまとめる。
3. フライパンに油を熱し、②を並べる。フタをし、中火で片面ずつ4～5分ずつ焼く。
4. 混ぜ合わせたBを③に塗り、マヨネーズ、青のり、かつおぶしをかける。

行事食のご紹介

病院食では、時折季節に応じた行事食を提供しております。今回は3月3日に「ひなまつり膳」を提供させていただきました。デザートは2色のゼリーとホイップクリームで菱餅をイメージしたのになっております。菱餅は春の訪れを喜び、健やかな子供の成長を願うという大切な意味が込められています。



名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生 2-26-11
URL <http://www.meitetsu-hospital.jp/>
TEL 052-551-6121 (代表)



経営主体

名古屋鉄道健康保険組合

病床数

HCU	12床
一般病床	321床(7:1看護)
地域包括ケア病床	40床
合計	373床

診療科目

- | | | | | |
|--------|--------|-------------|--------|--------|
| ●内科 | ●循環器内科 | ●腎臓内科 | ●消化器内科 | ●呼吸器内科 |
| ●脳神経内科 | ●血液内科 | ●内分泌・代謝内科 | ●小児科 | ●外科 |
| ●消化器外科 | ●整形外科 | ●リハビリテーション科 | ●脳神経外科 | ●婦人科 |
| ●皮膚科 | ●泌尿器科 | ●女性泌尿器科 | ●耳鼻咽喉科 | ●眼科 |
| ●麻酔科 | ●放射線科 | ●病理診断科 | | |

診療センター

- | | | |
|-----------|-------------------|-----------|
| ●内視鏡センター | ●認知症疾患医療センター | ●糖尿病センター |
| ●肝臓疾患センター | ●関節鏡・スポーツ整形外科センター | ●ウロギネセンター |
| ●予防接種センター | ●健診センター | |

専門外来 ※予約制 (一部を除く)

- | | | |
|------------------|------------|-------------------|
| ●禁煙外来 | ●リウマチ膠原病内科 | ●スポーツ内科(他院から紹介のみ) |
| ●ASO外来 | ●ペースメーカー外来 | ●肝臓外来 |
| ●シルバークリニック | ●インスリン導入外来 | ●糖尿病眼合併症外来 |
| ●糖尿病透析予防外来 | ●フットケア外来 | ●乳児健診 |
| ●小児慢性疾患外来 | ●乳腺外来 | ●ストーマ外来 |
| ●関節鏡外来 | ●スポーツ外来 | ●脊椎外来 |
| ●小児整形外来(月1回・不定期) | ●女性泌尿器科外来 | ●音声外来 ほか |



1号館前の名鉄病院駐車場について 平日7時～17時の利用で、来院、お見舞いの方は割引サービスが可能です。1号館1階Aブロックか2階総合受付に、駐車券を事前に提示して割引認証を受けてください。また、病診連携専用の駐車場も用意しておりますので、詳しくは地域医療連携室までお問合せください。

病診連携・紹介状に関するお問い合わせは

地域医療連携室 TEL. 052-586-5755 FAX. 052-586-5756

本紙内容に関するお問い合わせは

事務部事務1課 TEL. 052-551-6299 FAX. 052-551-6711